

空き家を活用した県立大学出雲キャンパス学生用シェアハウスの完成について

国土交通省「空き家対策の担い手強化連携モデル事業」として、『「地域見守りたい！」地・学連携による空き家活用プロジェクト連携団体』による、鳶巣地区の空き家を活用した県立大学出雲キャンパス（以下「出雲キャンパス」という。）学生用シェアハウス改修事業が終了し、この度、シェアハウスが完成しましたので報告します。

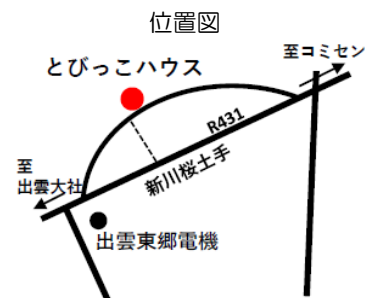
記

1. シェアハウス整備の経緯等

- ◆ 費用負担の少ない出雲キャンパス大学寮の入寮を希望するが、定員上の制限から入寮できない学生も多く、また、コロナ禍の影響によりアルバイトが制限され、経済的な負担が増している学生もいるため、低額家賃の住まいの確保が課題となっている。
- ◆ 出雲キャンパスが所在する鳶巣地区も空き家が増加しており、高齢化の進行、地域活力の低下が懸念され、空き家対策は鳶巣地区の重要な課題となっている。
- ◆ 学生による家庭訪問実習の受入れやフードバンク事業の実施など、出雲キャンパスと交流・連携を築いてきた鳶巣自治協会などが中心となり、同地区の空き家を活用した学生向けのシェアハウス改修事業を計画する。
- ◆ 改修事業は令和2年度から始まり、空き家の利活用を通じ、地（地域）・学（大学）との協働による地域活性化、新たなつながりの創出を図るため、地域住民、大学教員、学生、行政職員などが意見交換や様々な交流を行うとともに、学生と地域住民は、設計、片付け、解体、内装などのワークショップに参加した。
- ◆ 当該事業は、入居学生と地域住民がお互いの存在を感じながら生活し、お互いの見守りを行うなど、地・学連携による継続的な地域維持活動として、地域が主体となった新たな空き家活用モデルとして期待されている。

2. シェアハウスの概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 名 称 | とびっこハウス |
| (2) 所在地 | 出雲市西林木町地内 |
| (3) 定 員 | 学生4名(入居者は既に決定) |
| (4) 管理運営 | (一社) まちづくり鳶巣
(地域住民や事業に賛同された有志で組織) |
| (5) その他 | まちづくり鳶巣として町内会に加入し、入居者は、地域のイベント等に積極的に参加予定 |



これまでの取組はホームページで公開されています

● 「シェアハウス」について

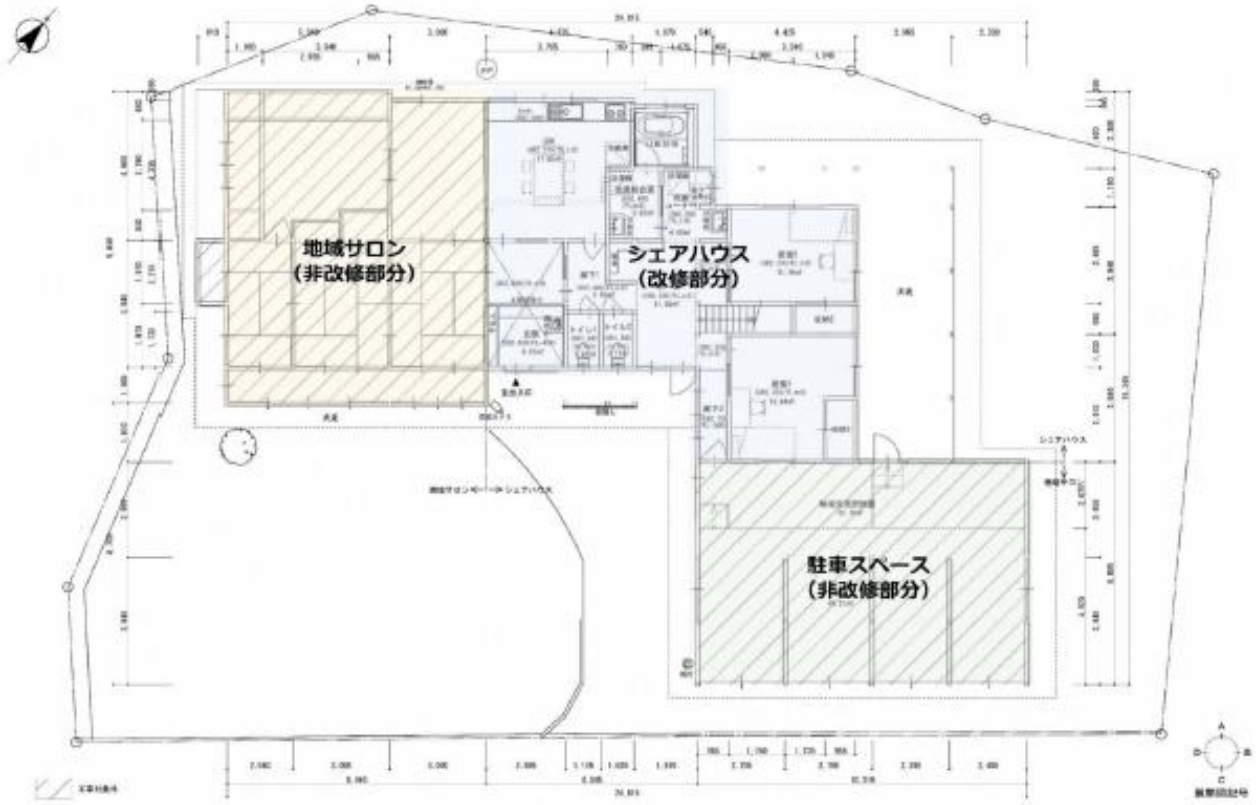
一つの住居に複数人が共同で暮らす賃貸物件を指す和製英語。一般的には、キッチン、リビング、バスルームなどを共同で使用し、プライバシー空間として個室を利用する。

● 「地・学連携による空き家活用プロジェクト連携団体」について

- ・ 鳶巣地区自治協会・川北町内会・鳶巣地区社会福祉協議会・(一社)まちづくり鳶巣・島根県立大学出雲キャンパス・(一社)全国古民家再生協会島根第一支部
- ・ 島根大学建築デザイン学科・出雲市建築住宅課・島根県建築住宅課
- ・ (一財)島根県建築住宅センター〔事務局〕



●シェアハウス改修図面



●シェアハウス改修状況

